

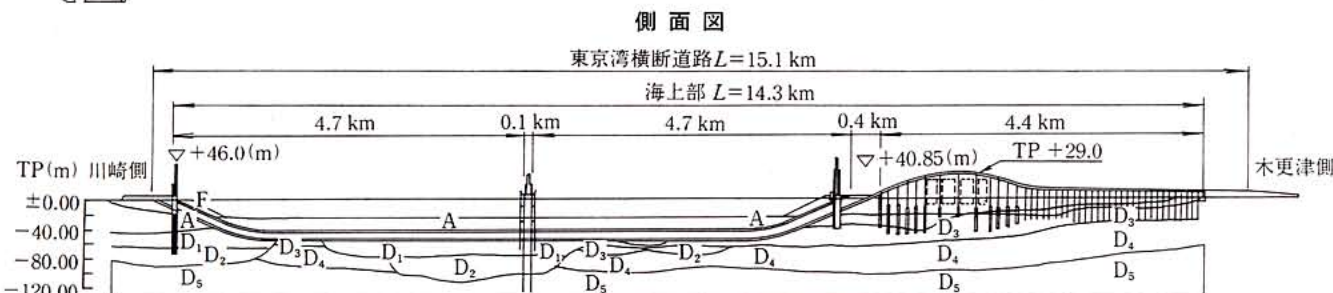
JOB REPORT

東京湾横断道路工事で活躍

21世紀に向けての大形プロジェクト東京湾横断道路。神奈川県川崎市と千葉県木更津市を結ぶ15.1kmの工事が昭和61年10月よりスタートしている。川崎側約10kmはシールドによる海底トンネル、木更津側約5kmは橋梁となる。海底トンネルの中央には川崎人工島を、木更津側も人工島を設け換気塔となる。工事中はシールド発進基地となり工事の要。現地進行中の両人工島には設計コンサルタントから協力し、(株)アクティオ殿より特需ポンプ部のノウハウと共に納入。

木更津側で発進基地となる大形鋼殻ケーソン(高さ29.5m、長さ64m、幅44m)を沈設させるために、水中ポンプU-4306C(8")×24台をコンピュータ制御により2日間連続工事して、予定の場所への沈設が完了した。川崎側の発進基地のケーソン沈設も始まり、活躍が期待される。

川崎人工島にも(株)利根殿と超厚壁大深度掘削機(EM掘削機)に搭載するK-231、K-222等を横浜(営)より納入。水中ポンプも耐海水、高深度、ディープウェル用としてK-226A等を開発し、都市形土木の新技术の一翼をになっている。人工島上にはバクアシシステムも納入。今後の活躍が大いに期待されている。



全体構造図

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| F : 盛土 | D ₃ : 成田層下部相当層 |
| A : 有楽町層 | D ₄ : 長沼・屏風ヶ浦相当層 |
| D ₁ : 7号地層 上部 | D ₅ : 上総層群上部 |
| D ₂ : 7号地層 下部 | |



川崎人工島外部リング(外径200m)

(建設の機械化より)